

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和4年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第3号（果樹カメムシ類）を発表します。
なお、本情報は病害虫防除所ホームページ（www.jppn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。



病害虫発生予察 注意報第3号

- 1 農作物名** カンキツ，ナシ等
- 2 病害虫名** 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ，ツヤアオカメムシ）
Plautia crossota stali Scott, *Glaucias subpunctatus* (Walker)
- 3 発生地域** 県本土
- 4 発生量** 多
- 5 注意報発令の根拠**
 - （1）主な餌植物であるヒノキ球果での寄生虫数は8月8日～10日の調査で多い傾向で（表1），ヒノキ球果の着生量も多く（表2），新生世代の発生量が多いと推察される（8月19日付け技術情報第6号）。
 - （2）8月22日～30日に再調査したヒノキ球果の口針鞘数（カメムシ類の吸汁痕数）は，平均で16.8本/果（平年9.5本/果）と増加し，カメムシ類が山林のヒノキから周辺果樹園等へ移動する目安である25本/果に近づきつつある（表3）。
 - （3）出水市美原町と南さつま市金峰町の予察灯では，9月に入りツヤアオカメムシの誘殺数が急増し（図1），一部のカンキツやナシ園で飛来を認めた。
- 6 防除対策及び防除上注意すべき事項**
 - （1）台風の接近で球果が落果すると，餌不足となった成虫が果樹園へ飛来する場合がありますので注意する。
 - （2）果樹園への飛来はほ場により異なり，園内でも偏りがあるので注意深く見回り，飛来を認めたら直ちに防除する。
 - （3）一回目の防除は残効の長い合成ピレスロイド系薬剤またはネオニコチノイド系薬剤を選択する。なお，合成ピレスロイド系薬剤はミカンハダニの発生を助長するので，散布後の発生に注意する。
 - （4）防除にあたっては，防除薬剤の使用回数や使用時期を遵守し，薬剤の飛散に十分注意する。

表1 ヒノキ球果での寄生虫数（8月8日～10日調査）

単位：頭/5枝

調査地点	チャバネアオカメムシ			ツヤアオカメムシ		
	幼虫	成虫	計	幼虫	成虫	計
南さつま市	0	0	0	0	8	8
いちき串木野市	2	0	2	0	2	2
阿久根市①	0	0	0	1	2	3
阿久根市②	0	0	0	0	1	1
出水市	4	3	7	0	0	0
さつま町	1	2	3	2	0	2
霧島市	1	3	4	0	0	0
曾於市	0	1	1	0	0	0
本年	1.0	1.1	2.1	0.4	1.6	2.0
平年	0.3	1.1	1.4	0.0	0.1	0.1

注1) 県内8地点で、1地点あたり5枝の結果枝を調査した

2) 平年は、2012～2021年の10年間の平均

表2 ヒノキの球果量（6月1日～6日調査）

単位：指数

調査地域	本年	平年
南薩	60	43
北薩	52	46
始良	69	45
大隅	64	40
平均	60	45

注1) 球果量は目視による達観調査（ヒノキ30地点），評価は7段階（極多,多,やや多,中,やや少,少,極少）

2) 球果量指数は愛媛県（2018）による。球果量が多いと指数が高く，少ないと指数が低くなる

3) 球果量指数： $((\text{極多地点数} \times 7) + (\text{多地点数} \times 6) + (\text{やや多地点数} \times 5) + (\text{中地点数} \times 4) + (\text{やや少地点数} \times 3) + (\text{少地点数} \times 2) + (\text{極少地点数} \times 1)) / (\text{総地点数} \times 7) \times 100$

4) 平年は、2012～2021年の10年間の平均

表3 ヒノキ球果の口針鞘数（カメムシ類の吸汁痕数）の推移

単位：本/果

調査地点	調査時期			
	7月8日～12日	7月22日	8月8日～10日	8月22日～30日
南さつま市	0.1	0.3	7.2	13.6
いちき串木野市	1.9	8.9	20.6	21.0
阿久根市①	1.8	1.9	12.0	14.4
阿久根市②	2.9	7.3	16.9	18.4
出水市	0.4	1.3	14.8	17.4
さつま町	0.2	2.2	8.8	15.1
霧島市	0.2	1.1	1.5	21.7
曾於市	0.1	2.8	12.3	13.2
本年	0.9	3.2	11.7	16.8
平年	0.3	2.5	5.9	9.5

注1) 平年は、2012～2021年の10年間の平均

2) カメムシがヒノキ球果から離脱する目安は、口針鞘数25本/果

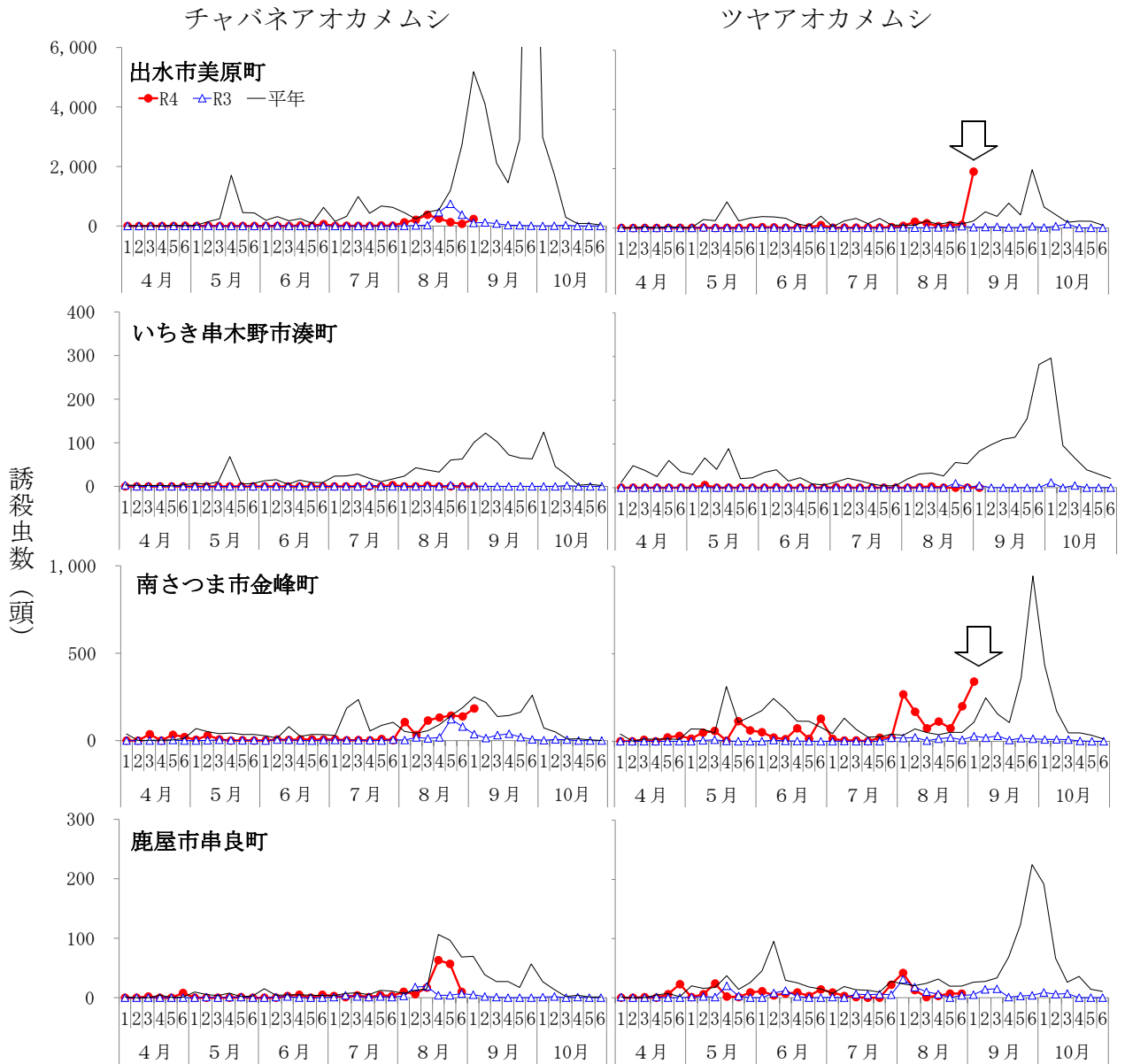


図1 予察灯での果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移